代表質問●総務文教常任委員会

佐藤守正

①前町長の予算規模5億円削減という方針を、見直すこともあり得るのか。

町長答弁

既に動き出している事業であるから進めていきたい。しかし、それでいいかどうか精査し見直すことは当然である。

②政策立案能力をもった役場職員がどれほど育っているかが、その町の将来を決める。職員育成の方針はどうか。

町長答弁

できるだけ多くの研修の機会を作りたい。課長の仕事は部下の育成である。職員はいい情報に接した時、それを察知できるアンテナを磨いてもらいたい。「自立プラン」を作ることを職員研修の機会にしたい。

③町民参加の「湯沢らしさの町づくり検討委員会」では何を検討するのか、参加する町民の人選はどうするのか、「自立プラン」とどのように係わるのか。

町長答弁

町民との膝づめの話し合いをしながら、地域の要求型ではなく地域参加型の町づくりをしたい。町長室の開放についても工夫したい。

④「マンション住民との交流」はどのような形で行われるのか。

町長答弁

マンション住民には有能な方が多いし、すでに定住されている方々は湯沢住民と同じ扱いをしてほしいという要求が強い。親の世代が湯沢に住めば、子の世代も湯沢に来る機会が多くなる。どのように交流するかはこれから考えていきたい。

⑤「町立病院の機能の充実を図る」とは、どういうことを意図しているのか。

町長答弁

慢性期や在宅医療に対応した医療体制を確立すること、患者が最初に接する医療の段階（一次医療）の充実、介護療養病床の機能と訪問看護の充実等をめざしたい。温泉を利用した健康増進施設、福祉センターなどを含めて、保健医療福祉の中核的機能を担ってもらいたい。町民が安心して気持ち良く受診が出来るような病院にしていきたい。

マンション住民の方々との交流をどのように進めていくのか

⑥「生ゴミの減量化のためデスポーザー設置」、どのようにして町民の間に導入するのか。

町長答弁

湯沢のゴミの搬出量は県下一である。その中で一番の重量は生ゴミだ。下水処理場の負荷を増大させたり、水環境を悪化させる等の問題点もあるが、ゴミ減量作戦、高齢世帯のゴミ搬出の困難性等を考えると、この方式の導入を検討したい。

⑦保育時間の延長は、保育師の時差出勤で対応しているが、朝7時頃から夕方も7時近くまで保育をするという実態もある。保育師の勤務とどのようにかねあいをつけるつもりか。

町長答弁

保育師の勤務条件を調査検討して、どうしたら保育時間の延長がうまくいくのか精査をしたい。

⑧「学童保育の充実」とはどのようにすることなのか。指導員には、腰かけ仕事ではなく生涯の仕事として打ち込める待遇を保障できないか。

町長答弁

働く親の支援のために学童保育を実施している。予算、親の要望、等の条件を勘案の上検討したい。

⑨「人間力の向上」「青少年の健全育成」「学力の向上」は言うには易くても行うには難しい事柄である。具体的にどのような施策を考えているのか。

町長答弁

子どもは地域・学校・家庭の連携を密にしながら、地域の子どもとして育てていきたい。子どもの数が少ないだけにその質の向上に努めねばならない。学力向上については、湯沢町学校教育研究協議会の活動を通しての教職員の指導力の向上に期待している。中学生の学力については、学習意欲を高めることが大事で、そのためにも、分かる楽しい授業、少人数指導、個に応じた授業等を通して授業に対する満足度の向上を図って頂きたい。子どもたちの学力の現状を保護者にも良く知って頂き、学校・地域社会・家庭の連携を密にしながら事に当たりたい。